

Microsoft 365 版 Excel の新機能（暫定版）

Microsoft 365 版の Excel では、Excel 2019 にいくつかの変更が行われている。現在、それについては調査中であるが、ここでは 2021 年 10 月 27 日までに判明した第 7 章 (p.82～p.112) における変更点を示す。

補足説明 この部分は 2019 版についても該当するものである。

p.103 下から 12 行目の練習問題で、I10～J11 に 1～4 が入力された状態でこの部分を範囲指定し、横方向に結合(A) を行うように指示してあるが、これを実際に行うと、その上でセル結合を行ったときと同様に一部の値が消えてしまってよいかどうかのメッセージが表示される。これには OK をクリックしておけばよいのだが、このメッセージは 2 回表示される。これは 横方向に結合(A) を行う際、今の場合は 10 行と 11 行のそれぞれでセル結合が行われ、それぞれの行において一部の値が消えてしまうことからこのようになるから、必要な回数 OK をクリックすることになる（かなり面倒くさい）。従って実際にこの 横方向に結合(A) を行うときは、セルに何も入力されていない状態で行うのがよいだろう。

p.107 上から 19 行目で「ただし、一つのセルの内部で斜めにドラッグした場合はそのセルに斜線の罫線が引かれる。」としてあるが、これが一つのセルの場合も、複数のセルを対象とした場合と同様四角い枠の罫線が引かれるようになった。斜めの罫線を引きたい場合は以下を参考にしてもらいたい。

罫線を引くには次のような方法もある。この場合は最初に罫線を引きたい部分を範囲指定しておく。次に罫線メニュー

を表示させ、一番下にある **その他の罫線(M)...** を指定する（【セルの書式設定(F)...】でもよい）。開いたダイアログボックスで **罫線** のタブを指定する（右図）。このダイアログボックスでは、始めに左側の **スタイル(S)** のボックスで引きたい罫線を選択しておく（必要ならばその下のボックスで罫線の色を指定しておいてもよい）。次に **外枠(O)** や **内側(I)** をクリック



すれば、該当する部分に指定した形態の罫線が設定される（最初に罫線のスタイルを指定しておかなければならない点に注意）。また、より細かく指定する場合は、その下の  などをクリックする。斜めの罫線はこれで実現できる。なお、斜め罫線以外の場合は、中央にある図の該当部分を直接クリックしてもよい（この辺は実際にやってみればすぐ分かる）。ただしこの場合は対象範囲が限定されることから、テキストで述べた方法と併用して行うのが

よいだろう（この辺は使い込んで慣れていってください）。

ここからが Microsoft 365 版の Excel における変更である。

- p.82** クイックアクセスツールバーの左端に 自動保存 が追加された。この機能をオンにしておくと、OneDrive 上のデータを利用した際に、上書き保存が自動的に行われる。
- p.82** ホームのリボン右端に データ分析 と 秘密度 の 2 つの機能が追加された。データ分析の機能の詳細はネット等で検索してもらいたい。秘密度の機能は、通常の Microsoft アカウントでサインインしても表示される機能ではなく、“職場または学校” 向けのアカウントでサインインしている場合にのみ表示され、利用可能になる機能だということだが、日本語環境ではまだ利用できないようである。
- p.96** 7 行目で「これをクリックすると、前ページ右上に示したメニューが表示される」となっているが、表示されるメニューが前々ページ (p.94) 右下のメニューになった。つまり、やれることがより多くなったということである。
- p.100** 8 行目でセル幅の初期値が「8.08 文字分」となっているが、「8.1 文字分」に変更された（小数点以下 2 桁まで表示はされるが実態は小数点以下 1 桁までになったようである）。
- p.107** 下から 3 行目で GDP というファイルを読み込むのだが、上記と同様 2019 で作成した Excel のファイルを読み込むとセル幅が少し広がり、このままだと後の記述と異なる部分が出てきてしまうので、修正しておく。B～Y 列を範囲指定し、【列の幅(C)…】で開くダイアログボックスで列幅を 8.4 にしておく（この辺の操作については p.101 で説明してある）。
- p.108** 表示のリボンの左端に シート ビュー が、右端には マクロ が追加された。シートビュー は OneDrive 等に保存されているブックを他の人と共同作業を行うもの、マクロは Excel 上で動作するプログラムの機能である。詳細な説明は省略する。
- p.111** ヘッダーとフッター の節 3 行目で「ページ レイアウト画面では、上端の余白に ヘッダーの追加 と表示されている」としてあるが、これが表示されなくなったようである。ただし、機能に変更はないようで、ページ レイアウト画面で 上端（あるいは下端）の余白にマウスポインタを移動すると、3 つ連なったボックスが表示される。このどれかをクリックすると、そのボックスがやや大きくなり、カーソルが現れる。同時に左側にヘッダー（もしくはフッター）と表示される。後はテキスト通りに、説明に従って操作を行っててもらいたい。
- p.111** 下から 9 行目で、ヘッダーの編集時に デザイン というリボンが表示されるとあるが、このリボンは ヘッダーとフッター という名称に変わっている。